

議事資料（広島市が直面する中核課題に対する対応策の検討について）の修正のポイント

I 全体的な修正のポイント

- ・ 「現状と課題」と「対応策の方向性」がリンクしていないものがあるという委員意見を踏まえ、それらがリンクするよう修正した。
- ・ 「現状と課題」について、本市と国レベルのものが混在しているという委員意見を踏まえ、本市の現状と課題になるよう修正した。
- ・ 具体的に書かれている箇所と、抽象的に書かれている箇所が混在しているという委員意見を踏まえ、抽象的な箇所に例示を追記するなど、具体的な記載になるよう修正した。

II 項目ごとの修正のポイント

1 活力の創出と都市ブランドの確立を目指したまちづくり

(1) 都市機能の充実強化

ア 都心や拠点地区等におけるまちづくりの推進

- ・ 都心全体と拠点地区全体に係る現状と課題と、その対応策の方向性を対応させるよう修正した。

イ 公共交通を軸とした交通体系の構築

- ・ タイトルが公共交通だけをイメージさせるものとなっていたため、自転車交通や道路交通もイメージできるよう修正した。
- ・ 公共交通ネットワーク全体に係る現状と課題と、その対応策の方向性を対応させるよう修正した。
- ・ 10年後を見据えると、IoTやシェアリング、グリーンスローモビリティへの対応の視点を入れる必要がある、さらに、公共交通ネットワーク全体の中で地域主体の乗合タクシーを整理すべきではないかという委員意見を反映した。

(2) 産業の振興

ア 産業の集積・強化

- ・ 産業の育成と企業等の立地誘導は、戦略的に取り組む必要があるという考え方の下、地域産業の育成と企業等の立地誘導を一体として整理するとともに、記載内容を踏まえ、タイトルを「産業の集積・強化」に修正した。

イ 中小企業・商店街の活性化

- ・ 商店街の活性化にコミュニティの観点が必要である旨の委員意見を反映した。

ウ 農林水産業の振興

- ・ 都市と中山間地域は、それぞれ課題が違うので対応も異なる、また、新技術の導入も進むという委員意見を反映した。

(3) 観光の振興

- ・ 外国人観光客が増加していることへの対応や、宿泊施設が不足していることへの対応などの課題がある旨の委員意見や、多数の具体的な取組事例の提案を反映した。

(4) 国際交流・国際協力や多文化共生の推進

- ・ 国際交流と外国人市民の話が混同して分かりにくい、また、これまで本市が取り組んできた姉妹・友好都市との交流を現状と課題に記載すべきという委員意見を踏まえ、国際交流と

外国人市民への対応に分けた構成に修正した。

- ・ 二国間交流団体との連携について検討してはどうかという委員意見を反映した。

2 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

(1) デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり

ア デルタ市街地の魅力あるまちづくりの推進

- ・ 景観に関する記載が中心となっているが、魅力的な機能ごとに整理した方が分かりやすくなるのではないかという委員意見を反映した。

イ デルタ周辺部の魅力あるまちづくりの推進

- ・ デルタ周辺部ならではの自然環境や市民が楽しめるレクリエーション施設を記載してはどうかという委員意見を反映した。

ウ 中山間地・島しょ部の魅力あるまちづくりの推進

- ・ 雇用の創出による中山間地の活性化や間伐材等を活用したビジネス、民泊による体験型修学旅行に関する観点について記載してもらいたいという委員意見を反映した。

(2) 区における地域住民を主体としたまちづくり活動の充実

- ・ 修正箇所なし。

(3) 広島広域都市圏の発展への貢献

- ・ 人口推計の更新に伴い修正した。

3 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり

(1) 地域共生社会の実現

- ・ 広島市社会福祉審議会における「地域共生社会実現計画（仮称）」策定の議論を踏まえて修正した。

(2) 保健・医療・福祉の充実

ア 健康づくりの推進と医療提供体制等の充実

- ・ 食の安全などについて記載してもらいたいという委員意見を踏まえ、食品の衛生管理や衛生的な環境の確保について追記した。

イ 高齢者が安心して暮らせる社会の形成

- ・ 地域包括支援センターの機能強化や介護サービスの提供体制について、具体的に記載してもらいたいという委員意見を反映した。

ウ 障害者の自立した生活の支援

- ・ 「障害者差別解消条例（仮称）」の策定に向けた取組や障害者の生涯学習、文化芸術活動の支援などについて記載してもらいたいという委員意見を反映した。

エ 原爆被爆者援護施策の充実

- ・ 修正箇所なし。

(3) 未来を担う子どもの育成と教育

ア 全ての子どもが健やかに育つための環境づくり

- ・ 女性が活躍できる社会の実現の一つのステップとして、保育所などの充実をお願いしたい、また、障害のある子どもへの支援について、記載してもらいたいという委員意見を反映した。

イ 一人一人を大切にす教育の実現

- ・ 広島に愛着を持つことができる教育、将来広島に住みたい・働きたいという思いを持つことができる教育が必要であるという委員意見を反映した。

4 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり

(1) 高齢者や女性を始め全ての市民の意欲と能力が発揮できる環境づくりの推進

- ・ 「女性や若者、高齢者など」とあるが、障害者も入るのではないかという委員意見を踏まえ、タイトルに「全ての」を追記した。

ア 地域の活力を生み出す雇用等の促進

- ・ 企業と提携して広島型インターンシップを拡充することにより、広島に人材を取り込む必要がある、また、広島で働きたいという環境づくりに向けた視点、さらに、広島で卒業した人を広島に残すような視点が必要であるという委員意見を反映した。

イ 男女が共に活躍できる社会の実現

- ・ 家庭における役割や職場での働き方は女性に限った問題ではない、また、対応策の方向性に女性と男性が混在していて分かりにくいという委員意見を踏まえ、仕事や生活、地域活動などのあらゆる分野において男女が共に活躍できる社会の実現を目指すタイトルに修正し、それに併せて内容も修正した。

ウ 生涯にわたり学習し活躍できる環境づくりの推進

- ・ 障害者の生涯学習についても検討する必要があるという委員意見を踏まえ、「現状と課題」の該当箇所を修正した。

(2) 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化

- ・ 地域コミュニティを持続させる手法を検討する必要がある、また、地域コミュニティの担い手を確保するためには、市職員の地域活動等への参加を促進することや、ボランティア休暇制度の普及などにより、企業に勤める現役世代などが地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組む必要があるという委員意見を反映した。

(3) 文化・スポーツの振興

ア 文化の振興

- ・ 広島国際アニメーションフェスティバルなど、国際的な発信力を持つイベントや、広島交響楽団やアステールプラザといった文化創造活動を行っている活動団体や施設など、広島の資源を盛り込む必要がある、また、プロと市民の文化芸術活動が混在した記載になっているので明確に分けるべきなどの委員意見を反映した。

イ スポーツの振興

- ・ マリンスポーツが開催できる豊かな自然環境を有していることや、他のプロスポーツにも言及してはどうか、また、スポーツを通じた平和・友好の発信はトップレベルに限定されるものではないという委員意見を反映した。

5 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

(1) 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備

ア 災害に強いまちづくりの推進

- ・ タイトルについて、中核課題で使用している「災害に強いまちづくり」の表現に合わせて修正した。
- ・ 「災害に強い都市構造の形成」「災害に強い組織体制の整備」「災害に強い市民活動の推進」の項目ごとに、現状と課題と、その対応策の方向性を対応させるよう修正した。
- ・ 崖崩れや土石流が発生しやすい場所に家が密集しているという現状を記載する必要がある、また、広域的に対応できる災害救護医療体制の構築が必要である、さらに、平成 30 年 7 月豪雨災害において、実際に避難した人とそうでなかった人とを分析し、その上で対

応策を検討する必要があるという委員意見を反映した。

イ 日常生活の安全・安心の確保

- サイバー犯罪への対応について記載する必要がある、また、成年年齢の引き下げも見据えた消費者施策とする必要がある、さらに、交通事故の被害者は高齢者だけでなく、子どもも多いため、子どもの交通安全の視点も追加すべきという意見を踏まえ、幅広い世代が対象となっていることが分かるように修正し、あわせて、防犯対策や消費者施策、交通安全対策をまとめたタイトルに修正した。

ウ 生活環境の維持・改善

- タイトルについて、「維持向上・維持管理」という方が本質的に近いのではないかとという委員意見を反映した。
- 「今後とも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう」と記載しているが、今後は、ライフステージに応じて移り住んでいくことも重要である、また、空き家の発生をどのように抑えていくかという予防策の視点が重要であるという委員意見を反映した。

(2) 環境と調和した循環型社会の形成

- 新たに「ウ 自然環境の保全及び都市環境の創造」という項目を立てたことから、既存の項目の順番を整理し直した。

ア 地球温暖化対策の推進

- 環境分野での交通の在り方も考えないといけない、また、自然エネルギー活用のマイナス面を考える必要があるという委員意見を反映した。

イ ゼロエミッションシティ広島の推進

- ごみ問題について、抜本的に新たな減量策を考える必要がある、また、ごみの不法投棄などの問題への対応も必要という委員意見を反映した。

ウ 自然環境の保全及び都市環境の創造

- 環境省で地域循環共生圏の構築に取り組んでいるので、こうした観点を取り込む必要がある、また、森林が持つ洪水緩和機能などの問題意識が必要であるという委員意見を踏まえ、新たに項目を追加した。

6 「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり

(1) 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現

- 被爆都市イコール平和都市ではない、平和都市とは何なのか考え直すべきであるという委員意見を踏まえ、本市が目指す平和都市を明確にするよう修正した。
- 核兵器廃絶を訴えるだけでは世界恒久平和は実現しないという委員意見を受け、一方で核兵器廃絶なくして世界恒久平和の実現はありえないという本市の立場を明記した。

(2) 「平和への願い」の共有の推進

- 核兵器によってどのような被害があったか示す役割は重要である、また、平和について考える入口として、平和の項目にもピースツーリズムの展開について記載すべきという委員意見や、本市の取組の状況を踏まえて修正した。

(3) 世界平和を脅かす諸問題の解決に向けた貢献

- 平和首長会議行動計画にある「安全で活力ある都市の実現」について踏み込んだ方が良い、また、世界恒久平和の実現には信頼醸成がキーポイントになるという委員意見を反映した。